



米原 賢一さん
Yonehara Kenichi

よねはら けんいち / (一社)
パレット理事。甲佐の観光資源
であるやな場や井戸江峡交流拠
点施設などの運営に携わり、訪
れる人と地域をつなぐ。

〔岩下二区〕

活気あるふるさとを 未来につなぐために

「生まれ育った自然豊かなふるさとをおもしろいまちにしたいです。今の子どもたちが大人になったときに自慢できるようなまちを作っていければ」と話すのはまちづくりに取り組み（一社）パレット

の米原賢一さん（岩下二区）。
広告の仕事に10年以上携わっていた米原さんがふるさと甲佐に戻ったのは5年前。離れていたからこそ分かる甲佐町の魅力を町内外の多くの人に伝えたいという思いが芽

生えてきたのがきっかけだ。
「少年期を一緒に過ごした仲間たちが甲佐蚤の市などの新しいイベントを立ち上げるなど、まちの雰囲気が変わりつつある時だったので、帰郷のタイミングが良かったと思いますね」と話す。そして平成30年春、家業の合間を縫って同じ志を持った新たな仲間と共にまちづくり団体（一社）パレットを設立。米原さ

んはこれまでの経験を活かして、このまちで子どもを育てたい、暮らしたいと思ってもらえるような、ひとまちづくりに取り組む。

米原さんたちが主体となって令和2年秋に開業した古民家ホテルもそのひとつだ。これを皮切りに井戸江峡でのマルシェをはじめとした滞在の呼び水となる試みを次々に企画。地元の人や企業と連携しながら、甲佐の文化・暮らしに触れる機会を提供してきた。「3年ぶりとなった蚤の市には、実行委員長として関わりました。この町に60年以上無かった宿泊施設の誕生によって、新たな人の流れが生まれています。これをきっかけに多くの人に甲佐町を感じてもらえたら嬉しいです」

新たな挑戦、おもしろい取り組みをすると、地域の皆さんが賛同・応援してくれるので心強いという米原さんは「まだ私たちの活動は道半ば。仲間たちと共に活気ある甲佐町を10年先、20年先につないでいければ」と明るい未来の実現のために歩み続ける。

広報 こうさ

2022年（令和4年）11月号
通巻640号